マクロの初歩（２）

「マクロ」というのは、作業を自動的に実行させる機能で、エクセルのもっとも優れた部分。「エクセルで表を作成したり、関数で合計を計算させたりできるようになった。マクロにもチャレンジしてみたい。」そんなかたのための、入り口用テキストです。

１．準備

新しいブックを開き、右図のように入力してください。

	A	B	C
1	一行日記		
2			
3	No.	日付	出来事
4	1	2015/5/26	一行日記を始めた。
5			
6			

「４行目に行を挿入して、A4 セルに番号、B4 セルに今日の日付が自動的に入力される」というマクロを、作ってみます。

２．マクロの記録

①まず、マクロ化したい作業のチェックをします。次の作業をおこなってください。

・A4 セルを選択し、行を挿入。
・A4 セルに、「=A5+1」と入力。
・B4 セルに、「=today()」と入力。
・A4～B4 セルを選択して、コピー→「貼り付け」のオプションで「値」として貼り付け。
・ESC キーを押して、コピーモードを解除。
・C4 セルを選択。

②右図のようになりましたか。（B4 セルには、図とは違って、今日の日付が入ります。）

	A	B	C
1	一行日記		
2			
3	No.	日付	出来事
4	2	2015/5/30	
5	1	2015/5/26	一行日記を始めた。
6			
7			

③「開発」タブ→「マクロの記録」で、「本日行の作成」という名前でマクロを記録します。①の作業をくり返し、作業が終わったら、「開発」タブ→「記録終了」。

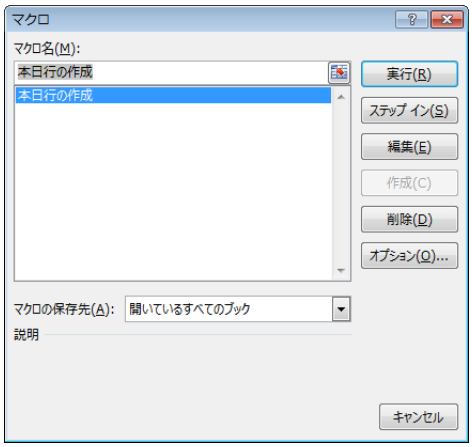
©特定非営利活動法人パソコンどーじょー

３．マクロの動作確認

①C5 セルに、適当に文を入力してください。

②適当なセル（たとえば、E10 セルなど）を選択しておいて、「開発」タブ→「マクロ」で「本日行の作成」マクロを選択して「実行」。

③４行目に、新しい行が挿入されましたか。「うまく行かない」という場合は、「開発」タブ→「マクロ」→「本日行の作成」マクロを選択して「削除」し、マクロを記録しなおしましょう。



	A	B	C
1	一行日記		
2			
3	No.	日付	出来事
4	4	2015/5/30	
5	3	2015/5/30	マクロの記録をした。
6	2	2015/5/30	
7	1	2015/5/26	一行日記を始めた。
8			

４．マクロのボタン化

①表の上部に、「本日行の作成」ボタンを挿入し、マクロを割り当てましょう。

（やり方を忘れちゃった場合は、「マクロの初歩（１）」テキストの「５．マクロのボタン化」を参照してください。）

	A	B	C
1	一行日記	本日行の作成	
2			
3	No.	日付	出来事
4	4	2015/5/30	
5	3	2015/5/30	マクロの記録をした。
6	2	2015/5/30	
7	1	2015/5/26	一行日記を始めた。
8			

②C5 セルに適当な文を入力して、「本日行の作成」ボタンをクリックしてみましょう。ちゃんと行が挿入されましたか。

	A	B	C
1	一行日記	本日行の作成	
2			
3	No.	日付	出来事
4	5	2015/5/30	
5	4	2015/5/30	ボタンにマクロを割り当てた。
6	3	2015/5/30	マクロの記録をした。
7	2	2015/5/30	
8	1	2015/5/26	一行日記を始めた。

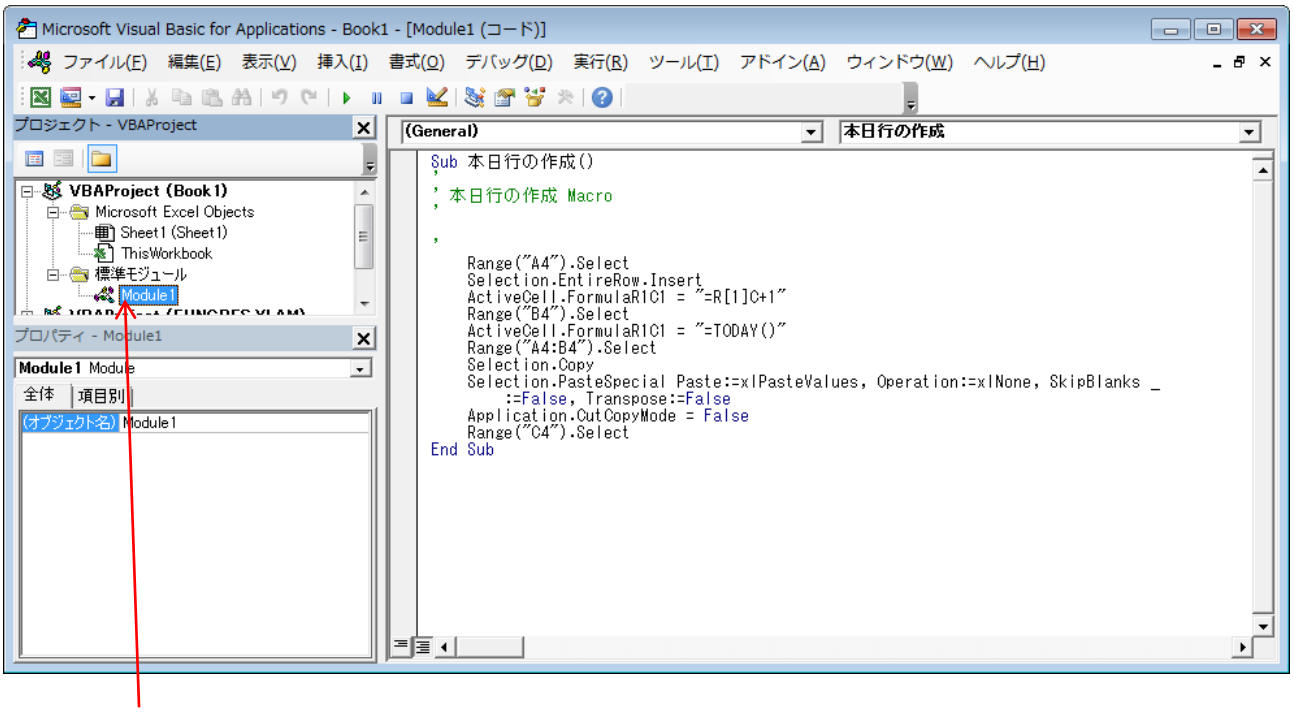
③「マクロ有効ブック」として、適当な名前を付けて保存してください。

（やり方を忘れちゃった場合は、「マクロの初歩（１）」テキストの「６．ファイルの保存」を参照してください。）

５．VBE（Visual Basic Editor）

マクロの正体を、見てみましょう。

①「開発」タブ→「Visual Basic」をクリック。



②プロジェクトウィンドウの「標準モジュール」を開き（左側の「＋」をクリック）、「Module 1」をダブルクリック。

③右側ウィンドウに、「Sub 本日行の作成()」以下、妙な文字列が表示されれば OK。

これが、マクロの正体です。「妙な文字列」は、VBA というプログラム言語です。英語まじりのワケのわからない呪文ですが、ちょっとながめて、何となく意味をつかんでみましょう。

（単語の意味）

・Range＝範囲

・Select＝選択

・Row＝行

・Copy＝コピー

・Paste＝貼り付け

たとえば「Range(“A4”).Select」は、「範囲 A4 を選択しろ」という命令になります。